



### 罹災者を保護せよ 畏し兩殿下の御仁慈

#### 香坂知事を召され

有難き御言葉を賜る  
しが十一日は警務山下の  
去る九日入山炭礦第五坑爆  
張所に滞在の香坂知事の  
手許に達したので知事は速  
刻御別邸に伺候し珍田東宮  
太夫を通し「兩殿下の行啓  
を仰いだ本縣民は相互戒心  
し些かの事故も発生せしめ  
ぬやう注意して居たが不幸  
大惨事を演出した事は誠に  
恐懼の至りに堪えません」  
と言上し即時郡山保安課長  
を現場に急行實地調査をな  
さしめ十一日午前六時半歸  
所したので直に言上せんと

### 涙新らたにして けふ入山の會社葬

#### 七十五基の位牌に暗愁漂ふ 會葬者天幕に溢る

既報入山炭礦遭難者七十五  
名の葬儀は會社葬を以つて  
本日午前十時から第五坑前  
廣場に装へられた齋場に於  
て執行されたが各々位牌を  
前に眞一文字に飾られた遭  
難者の  
**遺骨の** 下には五段  
に互つて供物が並び焼香臺  
の兩側には同會社重役より  
贈つた大花輪及び役員一同  
からの花輪が色とりどりに  
美しく其他齋壇を中心に各  
方面から寄贈の花輪が所狭  
き迄に飾り付られ幾張りか  
の天幕には遺族を前例と爲  
し其後方に來賓其他就業員

が目白押しとなつて  
**靜肅に** 控へて居る  
定刻導師森惣善寺住職其他  
卅名の僧侶が讀經を終つて  
廣瀨同會社重役の弔詞に次  
ぎ松葉枝の吉本礦業所長が  
合間に助けられたつ弔詞を  
朗讀、續いて十時同副所長、  
仙臺礦務署阿部礦業所長、  
比佐

**代議士** 在平新聞記  
者總代川崎本社長、町村長  
總代菅波内郷村長、商人總  
代阿部唯次郎氏其他の弔辭  
施主廣瀨專務の焼香あつて  
遭難技手齋藤利三郎氏の未  
亡人に抱かれた正（一）外喪

主遺族親族の焼香委員長十  
時副所長の挨拶あり従業員  
や一般の焼香に依りて暗愁  
漂ふ嚴肅な七十五名の  
**葬儀は** 閉された因  
に主なる來賓は阿部仙臺  
礦務署礦所長水野郡長、伊  
藤署長、青沼警務署經理課長  
白井警務監督、草野同支配  
人、大森醫學士、千葉辯護士  
其他數十名である又在平新  
聞記者有志から大花輪一基  
を遭難者の靈前に献げた

### 御救恤御禮

#### 香坂知事から

香坂知事は石城郡入山炭礦  
の爆發について畏くも御救  
恤金を下賜されたるにつき  
宮内大臣に對し左の如き御  
禮の電報を發した  
管内石城郡入山炭礦爆發  
の慘狀を聞召し畏くも御  
救恤金を下賜されたるは  
誠に恐懼感激の至りに堪  
はず直に聖旨を傳達せり  
謹んで御禮申上げ奉る右  
宜しく御執奏を請ふ

### 盆祭の注意

三事項を厳守  
平署にては盆祭りに關し十  
四五六の三日間左記事項を  
嚴守されたしとて一般に衆  
知の方法を講じて居る  
（一）松薪は道路の中央に積  
む事  
（二）松焚は午後七時花火合  
圖に点火する事  
（三）各區長宅に消防組員を  
配置し火防組員及び青  
年團員と協力警戒する事  
（四）盆踊は市街に於ては夜  
半十二時迄とする事  
芝居があること  
**労働者が休む**  
各炭礦聯合で  
劇場へ説諭願

### 募集

文藝其他一般技  
稿を募集します  
石城郡警務村にては其後放  
牧地問題にて村議八名辭職  
し一方村民は明日村民大會  
を開いて氣勢を擧げると

### 村議辭職

石城郡警務村にては其後放  
牧地問題にて村議八名辭職  
し一方村民は明日村民大會  
を開いて氣勢を擧げると

### 行燈を灯す

田町火防の試み  
平町字田町火防組にては盆  
祭り中の三日間、毎夜三箇  
所に纏形の行燈を灯し交通  
整理を行ふ由

殉難諸君の葬儀を執行せ  
らる不肖吉本眞一従業員  
を代表して故坑内係技手  
齋藤利三郎君以下七十五  
氏の靈前に謹みて弔詞を  
述べ呼此年此月如何なる  
禍年禍月なりしか爰に  
十三子を失ひ涙未だ乾か  
ざるに本月九日夜第五坑  
一部に於ける瓦斯爆發の  
椿事は悲しくも諸君を我  
等より奪ふに至る痛恨何  
物か之に如かん  
予之を坑務所長に承け此  
に年あり事業の性質に鑑  
み人命の尊きを思ひ危険  
防止の施設については聊  
微力を致したるに近時變  
災屢至るを以て戒懼措く  
能はず上司に協り  
部下を督し施設を  
改更に神明に祈り禍の  
再び無からんことを期し  
たるに何事ぞ此に諸君の  
壯烈なる遭難を見るに至  
る予は一山の主宰者とし  
て事變に接し錯愕爲す所  
を知らず泣て鬼神に訴ふ  
れども及ばざるなりされ  
ば徒に諸君の死を悲しむ  
は予の心事にあらず諸君  
は生前職務に忠實にして  
社務に貢献する處多かり  
き今や職に殉じて幽明界  
を異にするも其志は思ふ  
に業務發展の一山の安寧  
幸福とにあらん予は諸君  
の志を體し悲痛の心に鞭  
ち社務に精進して諸君の  
犠牲を徒爾ならさらしめ  
加護せよ  
諸君尚春秋に富み或は嚴  
父慈母と別れ或は良妻愛  
子を殘しむとして逝く彼  
を思ひ此を偲へば感極つ  
て言ふ所々知らず在天の  
英靈莫くは此心を酌め  
大正十三年八月十三日  
入山探炭株式會社  
坑務所長 吉本眞一

本月九日午後六時第五坑  
々内に瓦斯爆發し故技手  
齋藤利三郎君以下七十有  
五の諸君壯烈なる殉難を  
遂げるに至る嚮に第五坑  
變災あるや我社は上下戒  
懼協心して只管事故の防  
止に苦心したりしが焉ん  
ぞ測らん災禍再び來り忽  
ち諸子を亡ふに至る哀悼  
悲痛何物か之に如かん思  
ふに諸君は一死職務に殉  
したるもの産業戦に於け  
る尊き犠牲者にして軍人  
の戦死に比すべく眞に從  
業員の龜鑑なりされども  
諸君尚春秋に富み有爲の  
才を中道に捐て親子骨肉  
堂に残り哀別の涙切なる  
を思へば痛恨何ぞ堪えん  
我社は諸君の生前の功績  
を頌し其壯烈なる殉難を  
表さん爲め此に葬場を  
設け社葬以て尊靈を慰め  
んとす偶事天聽に達し諸  
子の遺族に對し救恤金五  
百圓を下賜せられたる旨  
昨夕を以て福島縣知事よ  
り傳達せらる 天を驚か  
し恐懼に堪えずと雖諸子  
は死して余榮ありと云ふ  
べし冀くは英靈彷彿とし  
て來發けよ  
大正十三年八月十二日  
入山探炭株式會社  
專務取締役 廣瀨春吉

石城地方に於ける舊盆を控  
へた昨今の状況は平常に比  
して稍々忙はしさを見られ  
るだけ打續く不景氣から一  
般の警戒と緊張とは好景氣  
時代の太く短かつたものに  
較べて 細く長く  
云ふのか債權債務何れにも  
著しい難狀が割合に少い從  
つて銀行等の手許には甚だ  
しい狂ひを呈して居らぬ謂  
はば不景氣なりに過ぐすと  
云ふ極めて  
石城地方に於ける舊盆を控  
へた昨今の状況は平常に比  
して稍々忙はしさを見られ  
るだけ打續く不景氣から一  
般の警戒と緊張とは好景氣  
時代の太く短かつたものに  
較べて 細く長く  
云ふのか債權債務何れにも  
著しい難狀が割合に少い從  
つて銀行等の手許には甚だ  
しい狂ひを呈して居らぬ謂  
はば不景氣なりに過ぐすと  
云ふ極めて  
石城地方に於ける舊盆を控  
へた昨今の状況は平常に比  
して稍々忙はしさを見られ  
るだけ打續く不景氣から一  
般の警戒と緊張とは好景氣  
時代の太く短かつたものに  
較べて 細く長く  
云ふのか債權債務何れにも  
著しい難狀が割合に少い從  
つて銀行等の手許には甚だ  
しい狂ひを呈して居らぬ謂  
はば不景氣なりに過ぐすと  
云ふ極めて

石城郡川部村小川座は附近  
芝居があること  
**労働者が休む**  
各炭礦聯合で  
劇場へ説諭願  
募集  
文藝其他一般技  
稿を募集します  
石城郡警務村にては其後放  
牧地問題にて村議八名辭職  
し一方村民は明日村民大會  
を開いて氣勢を擧げると